

# 環境医学 I

## 授業概要

主体と環境との相互作用という観点から、様々な健康問題、疾病の原因究明とその予防に取り組む研究について学習する。研究の方法は「人間レベル」を中心に、生活環境や社会文化環境を含め、人の取り巻く環境と医学医療との関連を検討する。

## 担当教員

神田 秀幸（主担当） 教授・環境保健医学

## 一般目標 **general instructional objectives**

1. 環境と健康の関連性からとらえる研究テーマを開発する。
2. 生活習慣・生活習慣の健康への影響を評価する方法論を理解する。
3. 労働環境の実際的応用研究を理解する。

## 行動目標 **specific behavioral objectives**

1. 疫学研究について説明できる。
2. 生活環境と健康リスクについて説明できる。
3. 働くことと健康について理解できる。

## 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

## 使用テキスト・参考文献

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	疫学 総論	神田 秀幸
2	疫学方法論（1） 記述疫学	〃
3	疫学方法論（2） 分析疫学（症例対照研究）	〃
4	疫学方法論（3） 分析疫学（コホート研究）	〃
5	疫学方法論（4） 介入研究	〃
6	疫学方法論（5） スクリーニング	〃
7	疫学方法論（6） 臨床疫学	〃
8	生活環境と健康（1）	〃
9	生活環境と健康（2）	〃
10	文化環境と健康	〃
11	社会環境と健康（1）	〃
12	社会環境と健康（2）	〃
13	労働環境と健康（1）	〃
14	労働環境と健康（2）	〃
15	労働環境と健康（3）	〃